

## ネットワーク情報学部・飯田助教授「プロジェクトI」のメンバー5人 キャッツ(株)と産学連携でチームの結成

### 「ETロボコン」に出場

ネットワーク情報学部の3年次必修科目「プロジェクトI」で、飯田周作助教授指導のメンバー5人は、ソフト開発関連のキャッツ(株)との産学連携でチームを結成、2005年度「ETロボコン」と題するコンテストに出場した。

専大のチーム名は「キャッツ&専修大学HSM」。ETロボコンは、レゴで作られた車型ロボットを制作して規定のコースを走行させるコンテストで、ロボットは内蔵されているマイコンによって制御される。コンテストは、この制御用ソフトウェアの設計の良しあしを競うモデリング部門と、実際にコースを走らせてタイムを競うショートトラック部門で構成される。



中央が指導の飯田助教授、左奥が代表の片山さん

参加50チーム中、モデリング部門では最終選考の10位には残ったものの惜敗。ショートトラック部門では見事完走し、14位という成績を残した。

チーム代表・片山敬介さんは、「ショートトラックレースでは全くダメか、すごくまいかのどちらかで、完走できるのは三分の一程度です。私たちは安全に完走することを大きな課題として設計しましたので成績には満足しています。10月17、18日に飛行船を使った競技もありますので、いまから楽しみです」と語った。

## 第17回東京都杖道大会

### 河上珠枝・岸野紘子組「二段の部」で優勝

第17回東京都杖道大会が7月16日、東京・足立区の東京武道館で開かれ、二段の部で、専大杖道会(顧問・宇都榮子教授)の河上珠枝(経済4)、岸野紘子(経営4)組が優勝した。

杖道の試合は、2人1組で、一方が杖、他方が木刀で立ち向かい、指定された立ち合いの形を2組が同時に演武。正確さ、早さ、鋭さなどを競う。

二人は1年次から毎年同大会に出場し、最後の年となった4年次に、念願の初優勝となった。岸野さんは「有終の美を飾ることができました。就職活動で練習不足でしたが、ペアを組んできた河上さんとの信頼関係と4年間培ってきたものが支えてくれました」。河上さんは「本当にうれしい。今後もしっかり続けようという気持ちが強まりました。『継続は力なり』。後輩たちもがんばってほしい」と喜びを語った。

今大会には、専大杖道会から学生、教職員ら15人が出場。フランスの留学生ポリーヌ・シェリエさん(文学部特別聴講生、8月に帰国)も1級以下の部で挑戦。敗れたが「素晴らしい思い出ができました」と笑顔で語った。



専大杖道会のメンバー



岸野、河上組の演武

## ジュニアサッカー講座

### 児童36人が参加

7月22日から24日の3日間、専大北グラウンドで地域の小学生対象の「ジュニアサッカー講座」(社会体育研究所主催)が開かれ、児童36人が参加した。ご父母が見守るなか、飯田義明経済学部助教授と川崎フロンターレのチームスタッフ2人の指導を受けて、練習に励んでいた。



未来のJリーガー選手は専大北グラウンドから誕生するか？  
楽しい練習風景

## 《健康フラッシュ》

### 先生！ 相談室に来て下さい

5月も終わりのころ、今年専大に就任された若手の先生から相談室に1本の電話が入りました。「カウンセラーと食事会がしたい」とのお申し出、よく伺ってみると次のような事情でした。

「教員たちで話しているとき、学生に相談室を勧めてもあまり行っている様子がない、との話しになった。そういえば自分達が相談室の場所も、カウンセラーがどんな人かも知らない。よく知らないものを勧めても、行かないのも当然かもしれない。では一度顔合わせのため食事会でも」と話が進んだとのこと。

うれしいお申し出に、ぜひ相談室にお茶を飲みにおいで下さいとお誘いし、何度か先生方が足を運んで下さいました。

学生を相談室につないで頂く時、いくつかのやり方が考えられます。先生が学生に相談室を勧めて下さって、少したってから〇〇という学生が相談に行ったかどうかとお問い合わせが入ることがあります。心配されてのことと思いますが、カウンセラーはこれだと身動きが取れないのです。学生に勧めるときに「相談室に〇〇さんが行くことを伝えておくから」とご連絡いただくとか、学生のいるところで相談室の予約をとる電話をかけて下さるとか、学生にとって相談室の敷居がとても高いようでしたら、恐れ入りますが一度相談室まで連れて来ていただけるととても丁寧なつながりになると思います。来室の経緯がわかれば、学生の了解のもと、こちらからご報告もできるのです。

でも先生、まずは相談室にお茶を飲みいらっしやいませんか。

(学生相談室)

《留学生からのメール -5-》

## ネイティブと“話す” — 柔道生かしたい

オレゴン大学<米>に長期留学中の金子優馬さん(法3)

今年度6月から、米国オレゴン大学に長期留学しています。

8月30日に英語学校のカリキュラムを終え、9月初旬現在、しばしの休暇中です。

ここオレゴンは、自然が雄大です。これまで、Oregon Coast(太平洋からの風が吹きすさぶ海岸)やSmith Rock State Park(巨岩そびえる州立公園)に行き、また山奥の湖へネイティブの学生とともにキャンプへ行きました。



そんな自然豊かな州にあっつか、大学のキャンパスは緑にあふれ、開けた雰囲気です。構内をスケートボードや自転車に乗った学生が軽快に行き交います。

渡米から2カ月以上経ち、今、ひとつの節目の時期を迎えました。留学前に考えていたこと、期待していたことに反することは、少なくありません。しかし、留学前のそれは、自分の単なる理想であったり、自分の甘さの表れであったのだと思います。

英語を習得するのに、本を読んでいるだけでは習得できません。これまではホストファミリーや学生チューターなど限られたネイティブスピーカーとしか、話しをしてきませんでした。今後の課題は、もっとたくさんのネイティブと「話す」ことです。

今、中学から高校までやっていた柔道を生かして、大学か地元の柔道ジムの門をたたくことを計画中です。自分の専攻の勉強もさることながら、さまざまな人とコミュニケーションを図ることも、この留学の大きなポイントだと考えています。

何事にも体当たりで、頑張ります！

## 05年度（平17）中期留学プログラム（英語コース・後期）

### 19人に留学許可書

05年度中期留学プログラム（英語コース・後期）の留学許可書交付式・出発前オリエンテーションが7月26日、生田キャンパスで行われ、大林守国際交流センター長から許可書が手渡された。後期はネブラスカ大学リンカーン校に11人（8月20日出発）、ワイカト大学に8人（10月1日出発）の計19人が参加する（別掲参照）。

#### 05年度（平17）後期参加者

##### ●ネブラスカ大学 リンカーン校

久保田聖充（経済4）  
 安藤 真理（経済2）  
 矢辺 綾（"）  
 栗栖 亜矢（"）  
 秋本真璃瑛（"）  
 丹羽みなみ（法 3）  
 東 泰兵（経営3）  
 紺 裕子（"）  
 荒川 雅子（商 4）  
 本城 明菜（文 3）  
 今村 允（文 2）

##### ●ワイカト大学

関 晴康（経済3）  
 岩野 絵美（経営3）  
 助川とも子（文 3）  
 高橋 陽子（"）  
 和久ひとみ（"）  
 岩崎 理絵（文 2）  
 多田 祐子（"）  
 【敬称略】



大林センター長を中心に留学する学生たち